

各 位

上場会社名 原田工業株式会社
代表者 代表取締役社長 三宅 康晴
(コード番号 6904 東証スタンダード)
問合せ先責任者 執行役員 上條 洋一
(TEL 03-3765-4321)

収益構造改革の推進に伴う生産機能再編の進捗状況 及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の連結子会社である上海原田新汽車天線有限公司及び大連原田工業有限公司における人員削減等による合理化を実施することを決議いたしました。また、それらに伴う特別損失の計上につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

1. 合理化を行う理由

当社は、2023年12月12日開催の取締役会において、当社が集中して取り組んでいる収益構造改革の一環として、当社の連結子会社である上海原田新汽車天線有限公司の生産機能を、同じく当社の連結子会社である大連原田工業有限公司及びHARADA INDUSTRIES VIETNAM LIMITEDに移管することを決議し、公表いたしました。

この生産移管に伴い、中国市場全体での収益を改善すべく検討を進めた結果、上海原田新汽車天線有限公司及び大連原田工業有限公司において、人員削減等による合理化を実施することといたしました。

2. 合理化の内容

- | | |
|------------|--|
| (1) 合理化の方法 | 希望退職 |
| (2) 人員数 | 上海原田新汽車天線有限公司 200名
大連原田工業有限公司 84名 |
| (3) 退職予定日 | 上海原田新汽車天線有限公司 2024年6月30日～8月31日
大連原田工業有限公司 2024年3月31日
(担当業務に応じて日付を分けております。) |
| (4) その他 | 遵守すべき法制度に基づき手続きを実施します。
退職者には特別退職金又は経済補償金を支給します。 |

3. 今後の見通し

今回の合理化による年間の人件費減少額は約7億円を見込んでおります。また、2024年3月期の連結業績に与える影響額については、今回の人員削減により発生する特別退職金や経済補償金等の他、生産移管に伴う設備や在庫の評価損失等、約14億38百万円を事業構造改善費用として特別損失に計上する見込みであります。

以上